

29 日機輸総企第 303 号
平成 30 年 2 月 14 日

組合員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

JMC 海外危機管理強化セミナーの開催について

1. 「医師の側から見た国際医療搬送の実際、事例紹介」
 2. 「国際医療搬送する場合の企業の課題」
-

平素より組合員の皆様には当組合の運営に大変お世話になっております。

海外駐在員・帯同家族、出張者を取り巻くリスクは、テロ、政変、暴動、犯罪被害、事件、事故、自然災害、感染症など多岐にわたりますが、とりわけ海外進出企業にとって最も身近な重大事態は、重病や事故による重傷事案であると思われます。

海外で重病・重傷事案が発生した場合、日本まで国際医療搬送をせざるを得ない場合もあり、また、搬送の手配のみならず、家族対応、現地対応、事案によってはマスクミ対応など、円滑に対応するための課題が沢山あります。

企業として身近なリスクとして認識してはいるものの、対応経験がないため、いざ発生した場合に搬送に伴ってどのような業務が必要となるのか分からないと心配されている組合員の皆様がほとんどだと思われます。

そこで、今回のセミナーでは、国際医療搬送の分野で経験豊富な医師と企業の危機対応コンサルティング経験が豊富な危機管理専門家をお招きして、国際医療搬送の実践的対応策についてお話を伺うことといたしました。

海外危機管理御担当者の多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 2018年3月6日(火) 14:30~17:00
2. 場所 機械振興会館 4階 日本機械輸出組合 第一会議室
東京都港区芝公園3丁目5番8号
アクセス(下記URLの地図参照)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>
3. 参加費 無料(組合員限定)
4. テーマ
 - (1) 「医師の側から見た国際医療搬送の実際、事例紹介」
〈時間〉 14:30~16:00(90分:質疑応答を含む)
〈講師〉 渡辺寛氏
(日本脳神経外科学会認定専門医、品川リハビリテーション病院院長)
〈内容〉

- ①国際医療搬送とは
- ②日本の医療システムと傷病(海外との相違)
- ③搬送の条件(適応)
- ④必要な準備(事務手続き)
- ⑤搬送の実際、実例紹介
- ⑥搬送後の処理

(2) 「国際医療搬送する場合の企業の課題」(グループ討議と解説)

〈時間〉 16:15～17:00(45分:質疑応答を含む)

〈講師〉 有坂錬成氏(安全サポート株式会社 代表取締役)

〈内容〉

- ① グループ討議「国際医療搬送する場合の企業の課題」
(グループごとの発表に対して講師からコメント、解説)

5. 講師プロフィール

(1) 渡辺寛氏(日本脳神経外科学会認定専門医、品川リハビリテーション病院院長)
1989年日本大学医学部卒業。1992年より河野臨床医学研究所附属 第三北品川病院勤務。現在、公益財団法人 河野臨床医学研究所附属品川リハビリテーション病院院長。日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医、日本大学兼任講師、労働衛生コンサルタント。
国際医療搬送の経験を200件近く有する。

(2) 有坂 錬成氏(安全サポート株式会社 代表取締役)

住友海上火災保険株式会社(現三井住友海上)でデュッセルドルフ駐在員を経てミュンヘン事務所長就任、1999年外務省に出向し「誘拐対策マニュアル」の編集を担当。2005年に安全サポート㈱を設立、代表取締役に就任。直近の主な活動は、海外危機管理に関する各種コンサルティング、危機発生時の対応アドバイス、講演活動など。外務省共催の海外進出企業向け安全対策セミナー講師、JICA(国際協力機構)業務で中東アフリカ等における安全対策セミナー講師も務める。

6. お申し込み方法

【定員】 50名(先着順)

【参加費】 組合員限定・無料

お申込みは、お手数ですが、当組合HPの「セミナーご案内」(下記URL)からお願いいたします。恐縮ですが、平成30年3月1日(木)までにお申し込み頂ければ幸いです。

(<http://www.jmcti.org/jmhomepage/seminar/index.htm#support>)

HPからの申込が難しい方は、Eメール(yokozeki@jmcti.or.jp)でご連絡下さい。

- ・受講券等はお送りしませんので、当日、会場受付にて御名刺をご提出下さい。
- ・定員になり次第、恐縮ですが締め切らせていただきます。

(本件問合せ先)

日本機械輸出組合 総務企画グループ 横関、金丸

TEL:03-3431-9560 E-Mail: yokozeki@jmcti.or.jp

以上